5月の園だより

太陽の子保育園　2023年5月号

新クラスでの生活が始まり、もう1か月が過ぎました。登園時、お母さんとなかなか離れずに泣いていた新入園児も、たくさんの先生やお友達にやっと慣れ、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。進級児も、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子どもたちにとって、緊張感がとけ疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

5月でも熱中症の危険!…車内に子ども残さないで!!

熱中症といえば、夏に起こりやすいイメージですが、JAF（日本自動車連盟）によれば、比較的過ごしやすい春や初夏の時期でも、天気のいい日などに旅行先で野外にクルマを停め、車内に子どもを残したままにすると、少しの時間でも危険度が増すと注意を呼び掛けています。

ＪＡＦでは４月に、窓を閉め切った車内での温度変化をテストし、その結果、最高外気温は23.3度でしたが、車内室温は最高48.7度、ダッシュボードは同70.8度にまで達したそうです。４枚の窓すべてを４センチ開けた車では、全閉した車より低いものの、車内温度は最高38.9度まで上昇。「直射日光が当たるダッシュボードが熱源となるため、車内温度の上昇に、車種や外装色、外気温はあまり影響ない」としています。

またJAFでは、「時間の長さに関わらず、少しの時間であっても子どもを車内に残したままクルマを離れたことがありますか?」といったアンケートを実施しています。その結果、54.9%が「ある」と回答。理由としては、「用事(買い物やきょうだいの送迎など)を終えてすぐに(5分以内)クルマに戻ることができるため[54.8%])、「子どもが寝てしまい起こさないため[19.3%]」、「子どもの希望(降りるのを嫌がるため)[12.6%]」となっています。

こうしたテストやアンケートの結果から、JAFでは、5月でも、密閉された車内は思いがけず高温となることがあることに言及。「少しくらいだから」「ぐっすり寝ているから」という子どものためを思った行動は、逆に危険にさらしかねません。油断せず、お子さんを残してクルマから離れることは絶対にやめましょう」と警鐘を鳴らしています。

外は23℃でも…

車内は49℃!!

５月の予定

８～12	身体測定
11(木)	音楽指導(幼児)
12(金)	懇談会・保育参加(らいおん)
16(火)	懇談会・保育参加(くま)
18(木)	避難訓練
22(月)	体育指導(幼児)
24(水)	調理保育(くま)
25(木)	懇談会(ひよこ)
26(金)	お誕生日会
29～5/2	職場体験(羽2)
30(火)	懇談会(ぺんぎん)

６月の予定

1（木）	懇談会（うさぎ）
2（金）	懇談会・保育参加（ぱんだ）
8（木）	音楽指導（幼児）
9（金）	避難訓練
12～16	身体測定
15（木）	歯科検診（全園児）
16（金）	お誕生日会
20（火）	体育指導（幼児）
22（木）	たまっ子座太鼓指導（らいおん）
23（金）	調理保育（らいおん）
27（火）	職員園内研修
30（金）	職員会議
30（金）	虫歯予防（幼児）

2023年5月8日より　5類移項

新型コロナウイルス感染症にかかわる対応が変更となります

5月8日以降の保育園における陽性者（園児）の対応について

◆登園を控えていただく期間は、発症日を0日目として5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまでとなります。無症状の場合は検体採取日を0日目とします。

◆登園の際は、「意見書(医師記入)」が必要となります(今後、変更になる可能性があります)。

◆家庭内で新型コロナウイルスに感染した方がいる場合の登園制限はありません。

詳細は保育園HPをご覧ください

子どもが親に望んでいるもの。それは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです

「シンプル育児の正解 主婦の友社編」より抜粋

「あなたが大事」というメッセージを子どもの心に届けたい

子どもが育つためには、絶対に必要なもの、それは「自分は大事にされている」という実感、安心感。あとは子ども自身のさまざまな体験。ごくシンプルに考えれば、この二つだけかなと思います。

たとえば、「明日は遠足だよ」と言ったら、「じゃ、あなたの好きなから揚げを作ろうね」と答えてくれるお母さんの笑顔。友だちとけんかをしてしょんぼりしていると、「元気ないのね」と顔をのぞきこんでくれるお母さんの心配そうな表情。毎日の生活の中の、ささやかなふれあいを通じて、自分は大事に思われているんだなという実感は育つのだと思います。特別なことではなく、毎日ご飯を食べさせてくれて、気持ちよく寝かせてくれて、元気がなかったら「あらあら、どうしたの」って心配してくれて。そんなベーシックな部分さえしっかりしていれば、子どもは安心して、ちゃんと育っていけるものです。

「いい子なら愛してあげる」。条件つきの愛情になっていませんか？

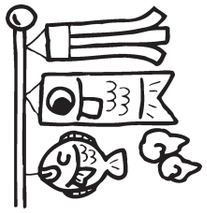
思春期に問題を起こした子どもたちの多くは、「あなたは大事」という親からのメッセージをしっかりもらっていなかったと聞きます。

もちろん、どこの親もわが子のことを大事に手をかけて育ててきたはずです。でも、もしかしたら、過保護・過干渉になりすぎて、かんじんな「あなたは大事」というメッセージが伝わらなかったのかもしれません。あるいは、「あなたの幸福は、いい成績を取ること」「一流中学に入ること」などと子どもへの「愛情」がいつしか「要求」に化けて、子どもを苦しめていたのかもしれません。

いま、幼稚園の「お母さんごっこ」でいちばん人気があるのは、お母さんではなくペット役です。「だって、イヌやネコはなんにもしないのにかわいがられるんだよ」と、子どもたちは言います。常になにか課題を出されて、それをクリアできたら「いい子ね」と言ってもらえる。最近の子どもたちはそんな条件つきの愛情に疲れているのかなと、少し心配です。

子どもは、親の言葉や指示で育つわけではありません。すべての子どもが親に望んでいるのは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです。わが子への愛情が、「いい子なら大事にしてあげる」という条件つきの愛情になっていないか、親はときどき自分の心をのぞいてみることも必要かなと思います。

端午の節句



端午の節句とは５月５日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅やちまきを食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が５月５日だったことから制定されました。

★端午の節句の由来…古来より中国では、物忌みの月（５月）には厄払いの行事が盛んに行われていました。端午というのは、月の端（はじめ）の午（うま）の日という意味。午（ご）と五（ご）の音が同じなので、毎月５日を指すようになり、やがて５月５日のことになったとも伝えられています。端午の日に、邪気をはらう力があるといわれる「菖蒲」をヨモギとともに軒につるしたり、菖蒲湯に入ったりしました。「菖蒲」が、武運を大切にする「尚武（しょうぶ）」と結びつき、男の子の厄よけと成長祈願になりました。

★なぜ男の子のお祝い？…５月５日は、徳川幕府の重要な式日に定められ、大名や旗本が、式服で江戸城に参り、将軍にお祝いを奉じるようになりました。そして、武家に男の子が生まれると、門前に馬印（うましるし）や幟（のぼり）を立てて男児誕生を衆々に知らせ、お祝いました。この行事が、薬草を摘んで邪気をはらうという端午の行事と結びつき、男の子の誕生の祝いへと結びついていったのだそうです。

保育園を支えていただいている方々

保育園は職員の他に、多くの方々に支えられて運営しています。

嘱託医

小児科　道佛　雅克先生（わかくさ医院院長）
歯　科　井上　雄温先生（井上歯科医院院長）

健診の他、日々の様々な病気・ケガについても、看護師を通して相談にのっていただいています。

体育指導　長屋　あゆみ先生（日本経営教育研究所）

子どもたちから大人気の長屋先生です。毎月の幼児体育指導の他、職員を対象とした体育指導研修も行っていただいています。

音楽指導　大月　友則先生

音楽指導の先生で、合奏やマーチングなどの指導で全国を飛び回っています。園では幼児クラスでの歌や合奏指導に合わせ、職員研修もお願いしています。

心理相談　澤井　晴乃先生（NPO法人かけはし）
黒葛真理子先生（チャイルドフッドラボ）

心理相談員の観点から、日々の保育へのアドバイスをいただいています。また、職員を対象とした発達心理に関わる研修も行っていただいています。

カメラマン　宮本　圭さん（OUTDOOR STUDIO）

こどもの自然な笑顔を撮影するのがとても上手なプロカメラマンです。事務所は相模原にあり、いつも行事のたびに車でお越しいただいています。